
さようなら小夜曲

待雪 爽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

さようなら小夜曲

【Nコード】

N9987R

【作者名】

待雪 爽

【あらすじ】

彼は歌い続けて今じゃ時の人。
返す私に口は無い。
だから書き続ける。

さよなら小夜曲

町並みが夕日色に染まる。

子供は帰る時間とばかりに音は鳴る。

誰もが温かい家庭に顔を綻ばせている。

そんな世界も数刻もすれば変わるんだろう…早く、子供達に混じってしまおう。

きつと、今日も優しい声が聞こえてくる。

ネオン煌めく華々しさは無い。

けれど、優しくて。

滑らかな歌声。

足早に人と人の間を擦り抜けた。

暗いところは嫌いだ。

夜の町中は人を変えるのかもしれない。

楽しそうな顔の中に慌ただしい大人が走り回る。

早く音に包まれない。

一緒にいたい。

家に近付けば近付く程息は上がる。

ぼろぼろのアパートは風が吹けば甲高い悲鳴をあげる。

錆び付いた階段を騒がしく登り、ポケットを探る。

黒く着色した鈴を鳴らし、鍵を開けた。
薄暗い部屋に灯を燈す。
ラジカセにCDを入れ、視界を狭める。
ままごとのようなよく言えば可愛らしい、純粹過ぎる歌に安堵と
物足りなさを感じる。

どうやら君は変わらないらしい。
私は変わってしまった。

外を走り回る大人達と変わらない自分…逃げ続けてはいるけれど。

淋しい。

悲しい。

待ってよ。

一人はやだよ。

溢れる涙が原稿に落ちる。

私があなを置いて行っただの？

才能が無いと分かってても、夢を諦めることはない。

どれだけ突き放されても、どれだけ遠くの人になっても書き続け
て書き続けて。

あなたはさらに歌い続けて歌い続けて。

置いていかれる不安は過ぎる

時に激しく、時に穏やかに。

二人は変わったのかもしれないね…？

一枚のカセットテープ

『心が決まったら、聞いてほしい』

君が置いていったその中に何が入っているのか、私は知らない。
1ヶ月が経ち、1年が経ち、10年が経つ。

穏やか過ぎた。

小夜曲のようにバルコニー越しでは情熱的な歌も私には届かない。

10年の時を越したとしても。

意味無いのよ、アンタが

『君に歌う

遠く離れようとも

君を思う

待てとは言わない

掠れに行く

』

「側に居て、隣で囁いて」

懐かしい声

「手を握って、」

「それが、あの時言いたかった言葉？」

「……」

カチカチと現代文明の恩恵にあやかる。

（そうよ）

「言わなかったよ」

（梶子だもの）

「お前には紙とペンで十分だろう」

（振り返らなかったわ）

「でも、届いた」

（掠いにでも来た？）

「そうだ」

（小夜曲はもういらないんだ？）

「全国ネットもな」

（そっかあ）

慣れないパソコンでメッセージ《恋愛小説》はいらない。
テレビを通した愛の歌も要らない。

さようなら、小夜曲

（お役御免って事で）

（後書き）

彼は歌手

彼女は小説家

全国巻き込み型の恋愛です

…表で堂々とすればはた迷惑な話ですが、裏話ですので可愛い話として事でお願ひします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9987r/>

さようなら小夜曲

2011年4月2日12時34分発行